

調査検討会審議予定(案)

		平成20年度										備考
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
検討会		第1回検討会 検討会発足		第2回検討会 試験方法の詳細検討			第3回検討会 試験結果の取りまとめ・評価 技術的課題の検討 効率的な整備方策の検討			第4回検討会 報告書の承認		
検討事項	防災行政無線(移動系)の現状と課題の把握	→		防災行政無線の現状と課題								
	地域事情に応じた効率的な整備方策の検討	→		効率的な整備方策の検討								
	共同利用等における使用周波数の数に関する検討	→		必要チャンネル数の調査 → 使用周波数の数の検討								
	通信統制等の機能に関する検討	→			通信統制等のあり方の検討							
	自治体意向調査	→				自治体意向調査						
	異メーカー間の相互接続性に関する調査、検討	→					通信試験結果の評価 → 改善方策の検討					
通信試験	通信試験	←		←			←		←			
		←		←			←		←			
	公開試験	←				←			←			
報告書		←							←		承認	

(参考)

260MHz帯デジタル防災行政無線システムの共同利用等に関する調査検討会の概要

本調査検討会は、これまでの400MHz帯等のアナログ方式の防災行政無線（移動系）から260MHz帯デジタル防災行政無線システムへの移行を促進するため、市町村合併の状況及び財政や地理的条件等の地域事情を考慮しつつ、基地局・中継局設備等の複数自治体による共同利用等の効率的な整備方策を明らかにし、財政事情等で整備が遅れている市町村においても導入しやすいシステムを検討するもので、同システムの普及促進を図るとともに電波の有効利用に資することを目的として開催する。

< 検討の背景 >

石川県及び福井県は、260MHz帯デジタル防災行政無線システムを整備（平成19年12月 運用開始）

アナログ方式の市町村防災行政無線（移動系）の260MHz帯デジタル防災行政無線システムへの移行促進が必要

< 検討の方向性 >

財政事情の厳しい市町村においても、比較的容易に導入可能な効率的（経済的）な整備方策（メニュー）を検討

< 主な検討課題 >

- (1) 地域事情に応じた効率的な整備方策の検討
- (2) 共同利用等における使用周波数の数の検討
- (3) 通信統制等の機能に関する検討
- (4) 異メーカー間の相互接続性の通信試験

期待される効果

効率的（経済的）な整備方策が明らかになれば、これまで導入が難しかった市町村においても導入が可能となる。

260MHz帯デジタル防災行政無線システムの普及拡大により、非常災害時における市町村間での応援、県や関係機関との通信環境が改善され、迅速かつ的確な災害対応が可能となる。

アナログ方式からデジタル方式への移行が促進され、電波の有効利用が図られる。

(参考) 実施体制

